
2022年4月

**【大学院生向け】
奨学金申込説明会 説明資料**

一橋大学学生支援課奨学事業係

はじめに（目次）

- 本資料は、対面の説明会に代わる、大学院生向けの奨学金説明資料です。主に**日本学生支援機構の貸与奨学金**についてご案内します。
- 各制度の詳細については、必ず申込要領や「奨学金案内」等で確認してください。

1.申請までの流れ (スライド3-5)

- 書類の配布・スケジュール
- 申込の手順
- (参考)返還シミュレーション

2.申込時の選択項目 (スライド6-9)

- 種別、月額
- 保証制度
- 返還方式
- 利率

3.採用後 (スライド10-12)

- 諸手続き
- 返還について
- 返還免除制度について

4.その他の支援制度 (スライド13)

- 学内外の奨学金等

1.貸与奨学金 申請までの流れ：書類の配布・申請スケジュール

- 貸与奨学金の書類一式は、学生支援課窓口にて入手してください。
(Webからのダウンロードも可能です)



本紙では「奨学金案内」と表記

	申込要領配布	申込期間	結果通知
貸与奨学金 (第一種・第二種)	4月1日(金)～ 学生支援課窓口(西本館1F) にて配布 ※Webでも掲示します。	4月21日(木)～ 5月16日(月)必着 (郵送または窓口提出。 開室時間:8:30～17:15)	7月頃 大学Gmailにて連絡
学内・民間団体等の 奨学金	各奨学金により異なります。随時Webサイトに掲載します。		

1.貸与奨学金 申請までの流れ：申込手順

申込要領一式の入手・必要書類の確認

学生支援課窓口またはWebにて**申込要領一式**を入手してください。取得に時間のかかる証明書等もありますので、必要な書類を必ず確認してください。

「スカラネット入力下書き用紙」の作成

各種金額の記入や証明書類については、申込要領、奨学金案内等をよく読み込み、不備のないようにお願いします。

インターネット（スカラネット）入力

※貸与奨学金案内での指示と異なりますが、本学の申込要領に従い**先にスカラネット入力を完了**させてください。

申込書類の提出

学生支援課に郵送または窓口にて提出ください。

1.貸与奨学金 申請までの流れ：(参考)返還シミュレーション

本当に必要ですか？
 日本学生支援機構が提供する奨学金貸与・返還シミュレーションを活用し、
 返還総額・返還期間をイメージしてください
<https://simulation.sas.jasso.go.jp/simulation/>



どの学校でいくら奨学金を借りたいですか？

奨学金の額は学校の種類や奨学金の種類で異なります

学校の種類

- 大学(学部)
- 短期大学
- 専修学校(専門課程)
- 高等専門学校
- 大学院
- 一貫制大学院

奨学金の種類

- 第一種奨学金(無利息・貸与型)
- 第二種奨学金(利息付・貸与型)
- 併用貸与(第一種および第二種の両方の貸与を受ける)

※第一種奨学金にあわせて貸与を受ける入学時特別増額貸与奨学金(利息付) [?] の貸与を受けたい場合は、「第一種奨学金」を選択のうえ、表示されるチェックボックスにチェックを入れてください。

貸与総額の計算方法

- 貸与期間と月額を入力する
- 貸与総額を直接入力する

入学年度: 2020

入学時特別増額貸与奨学金: なし

奨与明細

2020年4月～2023年3月 月額100,000円 追加

入力された内容はこちらです

一 貸与情報1: 大学院【第二種奨学金】

入学年度: 2020年

入学時特別増額貸与奨学金: なし

貸与利率: 0.07%

機関保証制度: 利用する

第二種奨学金

始期	終期	月数	貸与月額	保証料月額
2020/4	2023/3	26	100,000	5,440

貸与総額 3,600,000円 (保証料総額 195,840円)

■ 定額返還方式により返還する奨学金

2043年9月に返還が完了します。

返還例：第二種奨学金

貸与総額	貸与利率	返還期間(年)	
3,600,000円	0.07%	2023年10月～2043年9月(20年)	
返還方法 [?]	返還額	返回数	返還総額
月賦返還	(通常) 15,110円/月 (最終) 15,188円/月	240回	3,626,478円
月賦半年賦併用返還	(通常) 7,554円/月 (最終) 7,774円/月	240回	3,626,514円
	(通常) 45,333円/半年 (最終) 45,347円/半年	40回	

シミュレーションTop

条件入力

貸与額・保証料
総額確認

返還終了年・
返還総額確認

2. 貸与奨学金 申込時の選択項目：種別と貸与月額 → 貸与奨学金案内p.6

	種別	貸与月額	
大学院生	第一種奨学金 (無利子)	修士・ 専門職	50,000円、88,000円
		博士後期	80,000円、122,000円
	第二種奨学金 (有利子)	50,000円、80,000円、100,000円、 130,000円、150,000円 (法科大学院のみ190,000円、220,000円への増額も可能)	

※第一種・第二種で基準が異なります。併願・併用で申し込むことも可能です。

例：第一種と第二種の両方の貸与を希望する／第一種が不採用の場合、第二種を希望する

2. 貸与奨学金 申込時の選択項目：保証制度

→貸与奨学金案内pp.17-21、機関保証チラシ

大学院

貸与奨学金の利用には、**人的保証・機関保証** いずれかの保証制度の選択が必要です。
いずれを選択した場合であっても、**奨学金返還の責任は学生本人にあります。**

人的保証

- 連帯保証人（原則父母）と保証人（要件あり）に依頼が必要
- **返還の責任は本人にあるが、返還が滞った場合等、連帯保証人・保証人に督促・返還義務**

（保証人は「分別の利益」「検索の抗弁権」「催告の抗弁権」有）

機関保証

- 連帯保証人や保証人は不要
- 毎月の貸与月額は、保証料が差し引かれた金額（保証機関に毎月保証料を支払う） →保証料目安：貸与奨学金案内pp.38-39
- **返還の責任は本人にあり、保証会社が代位弁済（代わりに返済）した場合であっても、本人は引き続き保証会社に対し返済義務を負う**

※連帯保証人・保証人には選任条件があります。

※人的保証から機関保証への変更は、やむを得ない事由がある場合は可能です。逆は出来ません。
（機関保証へ変更した場合、貸与開始月に遡って保証料を支払う必要があります）

第一種奨学金は **返還方式** を選択します。

	対象	保証制度	返還月額
所得連動返還方式	第一種奨学金のみ	機関保証のみ	前年の所得に応じて変動
定額返還方式	第一種奨学金 第二種奨学金	人的保証・機関保証 いずれも可	一定

所得連動返還方式
返す月額を毎年見直し

所得に応じた月額で返還

例 年収:200万円 → 月額:約 4,700円
年収:400万円 → 月額:約 13,500円

※年収と返還月額は目安です。
※返還年数は年収により異なります。返還総額は定額返還方式と同じです。

特徴
所得があまり高くもない時でも、無理のない月額で返還できます。所得が高いと、返還が早く終わります。

定額返還方式
返還完了まで返す月額が同じ

借りた総額に応じた月額で返還

例 88,000円を2年間(2,112,000円)借った場合 → 月額:約 12,571円(14年間)

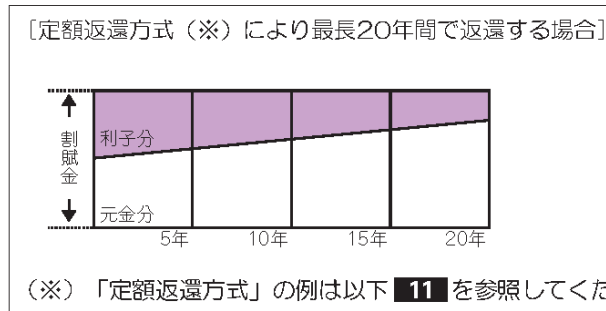
※第二種奨学金は定額返還方式になります。

特徴
最後まで同月額で返還するので、返還の計画がたてやすくなります。

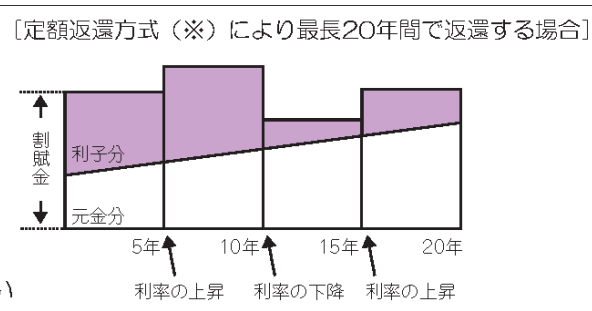
第二種奨学金は **利率固定方式・利率見直し方式** どちらかを選択します。

利率固定方式	貸与終了時の利率が返還完了まで適用	(参考) 2022年3月貸与終了者の利率 0.369% (基本月額部分)
利率見直し方式	利率が5年ごとに見直されるため、返還額が増減する	(参考) 2022年3月時点の利率 0.040% (基本月額部分)

(1) 利率固定方式における返還の概略図
利率が返還完了まで一定のため、返還額は一定です。



(2) 利率見直し方式における返還の概略図
利率が5年ごとに見直されるため、返還額が増減します(残元金に対する利子も変動します)。



(注1) 上記概略図は、利率の変動に伴う割賦金の増減の一例であり、実際の割賦金の増減とは異なりますのでご注意ください。

(注2) 利率固定方式と利率見直し方式は、元金分の総額は同じです。

(注3) 割賦方法として「月賦・半年賦併用返還」(14ページ **11** (2)参照) を選択した場合、半年賦分の返還がある1月と7月は、他の月と比べて返還額が多くなります。

3.貸与奨学金 採用後：諸手続き →貸与奨学金案内pp.31-33

①採用直後、②毎年度末、③貸与終了時 に手続きがあります。

その他、適宜、学生支援課から連絡することがあります。

<p>①採用直後 (採用年7月頃)</p>	<p>マイナンバー書類の提出 マイナンバーが分かる証明書類が必要になります</p> <p>返還誓約書の提出 「返還義務を理解して借ります」という誓約</p>	<p>書類配布します</p>
<p>②毎年度末 (貸与終了年度以外の12~1月月頃)</p>	<p>適格認定 「来年も貸与を希望します」という申請 学修状況等により継続可否の判定がなされます</p>	<p>適格認定説明会に参加ください</p>
<p>③貸与終了時 (貸与終了年の秋頃)</p>	<p>返還確認票等の交付 返還に向けて必要な手続きを案内します</p>	<p>返還説明会に参加ください</p>

※説明会は、社会情勢等により対面以外の方法で実施する可能性があります。

貸与奨学金は返還が必要です

延滞すると・・・

- 延滞金が発生（年5%）
- 本人、連帯保証人等へ文書・電話で督促が届く
- 個人信用情報機関へ登録される
（クレジットカードの利用制限・携帯電話の割賦購入契約の制限 等。
返還完了後も5年間削除されません。）
- 裁判所を通じた法的措置（給与や財産の差し押さえ）

返還が難しい場合の救済制度があります

在学猶予

貸与終了後も在学する場合（進学含む）は、申請により返還が猶予されます
申請を行わないと、在学していても返還が開始され、口座の状態によっては
自動的に延滞状態になることがあります。

減額返還

申請が認められると、毎月の返還額を減らすことができます。

返還期限猶予

申請が認められると、返還期限を延ばすことができます。

3.貸与奨学金 採用後：特に優れた業績による返還免除について →貸与奨学金案内p.13

- 大学院**第一種奨学金**には、特に優れた業績による**返還免除**（全額or半額）の制度があります。
- 例年、第一種の貸与終了者の30%に相当する人数を大学から日本学生支援機構に推薦できます。**学内選考**があります。（2021年度実績：修士課程7名、専門職学位課程8名、博士後期課程5名）
- **貸与終了年度**（辞退/退学した場合を含む。大学院の修了年度とは限らない）に申請が必要です。

「特に優れた業績」として評価されうる業績の例

修士課程※1

学位論文、研究論文（学会発表含む）、大学院の成績、
著作物、研究/教育補助実績（TA,RA等）

専門職学位課程

大学院の成績、 著作物、研究/教育補助実績（TA,RA等）

博士後期課程※2

学位論文・研究論文（学会発表含む）、
著作物、研究/教育補助実績（TA,RA等）

※1 経営管理研究科経営学修士コース（経営分析プログラム・経営管理プログラム）は扱いが異なります。

※2 博士後期課程は、JASSOから「博士課程の業績評価に関するガイドライン」が示されており、学位論文・研究論文において優れた業績があることが必要とされています。

4. その他の支援制度について

• 学内奨学金・民間奨学団体・地方公共団体の奨学金

- エンデバー・ユナイテッド・ホールディングス基金奨学金** 対象：日本国籍を有し、経営管理研究科又は経済学研究科の修士課程・専門職学位課程1年、又は博士後期課程2年に在籍する女子大学院生。
 予定人数 2名(修士/専門職1名、博士1名)、月額 8万円(給付)、支給期間 修業年限まで
- 一橋大学法科大学院奨学金** 対象：法科大学院に一般選抜で入学する者の中で、入学時の学業成績が優秀で、経済的理由により修学が困難な者。
 予定人数 2名以内、月額 5万円(給付)、支給期間 1年
- 本田正士記念奨学金** 対象：法科大学院に一般選抜で入学する者の中で、経済的理由により修学が困難な者
 予定人数 5名程度、月額 5万円(給付)、支給期間 1年
- 経済的に修学が困難な学生を対象として、**民間奨学団体**や**地方公共団体**が様々な奨学金（給付型・貸与型）を募集しています。
 例年100以上の団体の募集があり、200名程度が受給しています。
- 奨学金の募集は3～5月に集中し、特に4月初めからピーク**となります。それぞれ希望者は本学ウェブサイトで奨学金の内容・応募資格・申請方法等を確認のうえ申請してください。
 詳細 <https://www.hit-u.ac.jp/shien/campuslife/minkan.html>

• 授業料免除

- 経済的理由、被災、学資負担者の死亡等により授業料の納入が困難であり、かつ学業優秀な者に、授業料の全額または半額を免除します。半期ごとに申請が必要です。
 詳細 <https://www.hit-u.ac.jp/shien/fee/exemption.html>

• その他の制度について

- コロナ禍の影響も含め、学生の皆さんが利用可能な学内外の経済支援制度についてこちらでまとめています。
 詳細 <https://www.hit-u.ac.jp/shien/campuslife/pdf/scholarship/2021/2021notice/programs.pdf>
- その他、新しい制度等は、随時、CELS等でご案内することがあります。

◆経済支援を目的とする奨学金のほかに、研究費等を助成する公募（多くは研究者対象ですが、大学院生も対象に含まれることがあります）も官民により多く行われています。**返還不要の奨学金や研究助成を獲得することにより、貸与奨学金が減額できたり不要になったりする場合もあります**ので、興味のある方はご自身で積極的に探してみてください。

本学関連Webサイト・問合せ先

本学ウェブサイト

- 経済支援全般 <https://www.hit-u.ac.jp/shien/campuslife/financial.html>
- 日本学生支援機構 貸与奨学金 <https://www.hit-u.ac.jp/shien/campuslife/shienkikou.html>
- 授業料免除・徴収猶予 <https://www.hit-u.ac.jp/shien/fee/exemption.html>
- 学内奨学金、民間奨学団体・地方公共団体の奨学金 <https://www.hit-u.ac.jp/shien/campuslife/minkan.html>
- 困難な状況におかれている学生等が利用可能な主な経済支援制度等のご案内 <https://www.hit-u.ac.jp/shien/campuslife/pdf/scholarship/2021/2021notice/programs.pdf>

学外ウェブサイト

- 奨学金を希望する皆さんへ／奨学生となった皆さんへ（動画）（日本学生支援機構） <https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/zaigaku/movie.html>
- 進学資金シミュレーター（日本学生支援機構） <https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/>

奨学金その他経済支援に関わる連絡は、大学Gmail（学籍番号@g.hit-u.ac.jp）宛に行います。

- **メールを定期的に確認する・普段使用するアドレスに転送する**設定を行うなど、重要な連絡を見逃さないようにしてください。
- 書類不備があったときに連絡することもあります。緊急時はこちらで把握している携帯番号にかけることもあります。
- **大学からの連絡を見逃したり、手続きを怠ったりした場合の不利益については救済できません。**

一橋大学学生支援課奨学事業係（国立西キャンパス本館1階）※窓口は月～金（祝日を除く）8:30～17:15

Tel: 042-580-8139 e-mail: scholarship@ad.hit-u.ac.jp